

KEPLER®

インターナショナル・ホスピタリティ・アカデミー



2026 年度入学 シニア・エグゼクティブ・リーダーシップ・プログラム (6ヶ月)

ラグジュアリーホスピタリティの改革



KIHA



目次

- 05 はじめに
- 06 KIHA 独自の教育モデル
- 08 シニア・エグゼクティブ育成プログラム
- 10 プログラムの内容と構成
- 16 参加者研修
- 18 ケプラーコミュニティでの実践
- 18 費用



はじめに

様々な角度や物事と繋がるのが容易になった21世紀の世界では、環境意識の高い高級志向の旅行者や裕福な若い世代が、自分たちの生活様式に一致した、良い影響をもたらす、あるいは再生可能なホスピタリティや観光を求めています。こうしたニーズに応えるため、観光とホスピタリティの分野では、発見、ふれあい、交流を通じ、質の高い本物の体験を顧客に提供し、サービスと完全に一体化したプラスの影響を持つ新しいコンセプトを創造する必要があります。

グローバル市場の変化に伴い、観光とホスピタリティのこれまでの消費モデルは新しく生まれ変わる必要があります。私たちはますます、本物の価値、新しい発見、より深い幸福にこそ真の価値があるポスト物質主義の世界の出現を目の当たりにしています。新しいラグジュアリーとは、自由を感じることであり、生き方のすべて

が自然にポジティブな影響を与えるような、悠久の時を超えた空間に身を置くことだと考えます。

ラグジュアリーホスピタリティ・ビジネスにおいて、影響を与える積極的なサービスモデルを提供するには、優れた見識、徹底した規律、そして私たちの仕事の本質に対する高い理解が必要であり、さらに最高レベルのビジネス・スキルとリーダーシップ・スキルが求められます。それは挑戦的な取組みになります。

これが、ケプラー・インターナショナル・ホスピタリティ・アカデミー（KIHA）を設立した理由です。私たちの使命は、ホスピタリティ業界の新しいリーダーを育成し、ホスピタリティ業界における新たなラグジュアリーの形を定義し、提供することです。当アカデミーのトレーニングは、ホスピタリティとツーリズムの新しい形の定義、実施、管理を行う専門家を育成するものです。



KIHA 独自の教育モデル

KIHAでの研修は、ホスピタリティ業界におけるマネージャーやリーダーの自己成長と能力開発、そして新しいビジネス・スキルや見識の習得に焦点を当てています。私たちの哲学は、参加者一人ひとりの個性を伸ばすことです。具体的には、3つのテーマを中心にプログラムを構成しています。

1

行き届いたおもてなしの心

現在のラグジュアリーホスピタリティとツーリズムの動向やホスピタリティとサービスの新たな視点、そして、サービスデザインを「リスニング・ホテル（耳を傾けるホテル）」のコンセプトで再考察をし、消費者と地球が求めるパラダイムシフトを実現する方法を探っていきます。

2

プラスの影響を与えるビジネスモデル

ホスピタリティに関するサステナビリティの知識とスキルの習得を目指します。今日の業界のビジネス戦略やバリュー・チェーンに取り組み、人材育成を含む既存の経営手法を見直し、経営への影響を把握していきます。

3

自主性と指導力

プログラムの期間中は、個々のニーズに合わせた指導やコーチングと仲間と共に取り組む能力向上を目指したプログラムとなります。ホスピタリティとお客様のウェルビーイングに関連する日本特有の伝統的なおもてなしを含む、様々な職種や専門技術を学び、実践していきます。自己認識を深めていくことで、個人のリーダーシップの開発に焦点を当てます。



国際的な事例から得た教訓や目標を、参加者がそれぞれの職場で抱えているビジネス上の課題やプロジェクトに当てはめることで、より理解を深めることを可能にします。各参加者が個人講師または指導者によって指導を受ける体制を組むことにより、3つの指導の流れを一貫した形で受けることとなり、各指導内容の関連性が参加者に十分に理解し、体得することを可能にしています。

ホスピタリティ・マネジメントのスクールは、技術的、財政的な科目を強調する傾向があり、個人的な成長、サービス、文化的な側面が軽視される傾向にあります。ケプラーが実践しているホスピタリティにおける管理職育成のための徹底した経験に基づく取り組みは、国際的なビジネススクールの中でもユニークなものです。ビジネスモデル、サービス文化、リーダーシップの3つの側面について総合的にバランスを取りながら、ラグジュアリーホスピタリティ市場における新たなニーズを予測し、満足させることができるよう、参加者の皆さんに指導しています。





KIHA シニア・エグゼクティブ育成プログラム

参加対象

このKIHAプログラムは厳選されたものです。各コースとも定員は8名限定となります。このコースは、ホスピタリティ、ツーリズム、その他のサービス部門で、意欲的な成功を収めているシニア・エグゼクティブを対象としています。現在のホスピタリティ・モデルに挑戦し、世界観を広げ、リーダーシップ能力を高める建設的な方法を探しているリーダー向けになります。

参加者経歴

- ラグジュアリーホスピタリティ分野に従事されているゼネラル・マネージャーやシニア・エグゼクティブの方。
- ホスピタリティ業界でのマネージメントとして10年以上の実績を持つ方。
- リーダーとしての専門的・個人的な成長を促進したいと考えている方。
- 未来のホスピタリティのための鍵と、心のこもったサービス提供を率いるための新しい道を見出すことに意欲的な方。

さまざまなタイプの参加者を組み合わせることは、KIHAプログラムの重要な要素です。私たちは、ホスピタリティ・モデル、マネージメント能力、各国の文化、職業的背景を幅広く反映し、参加者の研修経験を豊かにする人材を求めています。



研修目的と成果

本プログラムの内容は、3つの主要テーマを中心に構成されています。

奥深いホスピタリティ

- 自分の日常での選択(個人的な習慣)と、リーダーとしての仕事上のパフォーマンスとの関連性について理解を深めます。
- 自分の選んだ分野または活動において、自らを律して実践する能力を養います。
- 自分なりのホスピタリティ哲学を確立していきます。

好影響を与えるビジネスモデル

- 今日の旅行者、ゲスト、従業員の進化する生活様式と望みによって、現在のサービス提供のやり方を全面的に見直す必要があることを探っていきます。
- ビジネスモデルと、この分野が自然や社会に与える影響(観光とホスピタリティのプラス面とマイナス面)の現実との関連性について理解を深めます。
- ホスピタリティ分野におけるビジネスのやり方を変えることの必要性を把握していきます。
- ホスピタリティと観光のバリュー・チェーンにおけるビジネスモデルを再考し、与える影響を改善する方法を学んでいきます。

自主性と能力

- ビジネスにおける大きな変革には、すべてのステークホルダーに影響を与えることのできる、先見の明のあるリーダーシップが必要であることを学びます。
- 個人的な価値観、信念、ビジョンと、プログラムを進める中で自身(およびチーム)が定義する変化をもたらす課題とを結びつけることで、他者に影響を与える能力を高めていきます。
- 学んだことを実施することで、行動、ゲストと従業員の反応、外部への影響、そして理想的なホスピタリティ・モデルに向けたビジネスの進化において、目に見える成果を生み出していきます。

プログラムの内容と構成

このプログラムは、それぞれ4ヶ月と2ヶ月の2つの段階に分かれており、パリでの卒業式をもって終了します。

KIHAプログラム 第1段階 3つの集中研修 プログラム(4ヶ月間)

第1段階は、3つの都市(2都市はヨーロッパ、1都市はアジア)で5日間の集中的な宿泊研修を3回開催します。各研修プログラムでは、卓越したホスピタリティとサービスを直接体験していただきます。研修プログラムの前後には、参加者全員に能力開発指導セッションが準備されています。各研修プログラムの一環として、リーダーシップの共同開発のグループセッションを実施します。

研修プログラムI(アムステルダム)- 未来のホスピタリティ・モデルの構築

- 今日の自身のホスピタリティ哲学が未来の世界で役立つ為には何か必要なのかを問います。
- 社会、ホスピタリティ、その他のサービス産業における絶え間ない変化は、未来志向のリーダーにとって、従来のビジネスの常識を覆すものであるということを認識する場を設けます。
- 視察と講演のテーマ：進化するプレミアム旅行者のニーズ、影響をホスピタリティのバリュー・チェーンに取り込む方法、画期的なサービス・イノベーションの事例を紹介します。
- プログラムの6ヶ月間を通して、自主性を重んじた実践を追求することを心がけ、自分の成長目標を設定します。

アムステルダムで開催する理由

近年、アムステルダムは観光産業のイノベーションの最先端を走っています。この都市は、マルチステークホルダー型の観光戦略「みんなのための観光」を策定した最初の主要都市です。若く活気あるホスピタリティ起業家の集まるこの都市では、革新的なビジネスモデルに基づくコンセプトが数多く生まれています。

Bラボ・ヨーロッパの本部があり、SDGsハウス（国連持続可能な開発目標）の本拠地でもある環境への配慮ビジネスの拠点であるアムステルダムは、サステナビリティ・フレームワーク「ドーナツ経済学」を開発戦略のプラットフォームとして活用した最初の都市です。

最初のプログラムで、参加者は街の持つエネルギーと彼らの革新力に触発されます。また、異文化マネジメント・セッションのプラットフォームとして、オランダのビジネス文化についても学んでいきます。

セオリー	グローバル・セクターの背景、動向、イノベーション、戦略。ホスピタリティ・モデル、ゲストのニーズ、多文化間のラグジュアリー、深みのあるサービス、サステナビリティと環境への影響、リーダーシップの在り方の違い。
最初の研修プログラムで扱う内容の一例	• マクロとセクターの動向、持続可能なビジネスの動向、ESGなど、変化する今日の状況の探求。 • 過去のホスピタリティ・セクターを理解することで、シナリオの手法を用いてホスピタリティ・セクターの未来を予測。 • 影響を基にしたホスピタリティ・イノベーションのための、シニア・マネジャーの戦略的手法。 • ステークホルダーの参画を通じた、ビジネスモデル革新の条件の具現化。 • ホスピタリティは芸術であり、技術である：理念、哲学、実践。
ソフトスキルの向上	観察と意図：レンブラントやゴッホといった偉大な芸術家の影響があらゆる場所に見られるこの街で、私たちの観察力と創造力を養います。オランダの平等主義や協調性のモデルとの出会いは、リーダーシップと文化についての私たちと共通した考察を促進していきます。
プロジェクト	業界の状況、動向、変化するホスピタリティ・ニーズに関連したビジネスモデルのイノベーションに関するグループ研究。
指導内容	• 個人指導：個人の習得・能力開発の目標、目的、およびロードマップを示す。 • グループ共同展開の促進：自分のリーダーシップ発揮法。
視察（一例）	アムステルダム市戦略局・革新的なホスピタリティ企業・Booking.com。

京都での研修プログラム第2弾 - 深いサービスを提供するための鍵の発見

- 日本のホスピタリティと観光の歴史的な中心地である京都での厳選された訪問や直接体験を通じて、サービスの理想像に挑戦していきます。
- 見学と講演のテーマ：日本文化の伝統に学ぶ「おもてなし」の精神、自分を律し、自己を極めることから生まれる無形のサービス、卓越した成果を達成するために効果的なリーダーはどのように一線を画すかなどを探求します。
- 成功するサービスモデルは、不動産開発ではなく、ゲストや従業員との相互影響や関係からはじまるということの認識を深めていきます。
- 現在サービスを提供しているビジネスモデルを、グループで相互支援によって再考していきます。

京都で開催する理由

京都の今宮神社にほど近い「一和（一文字屋和輔）」では、1,000年以上続くあぶり餅を食べることができます。京都には「老舗」と呼ばれる何世紀も続く家業があり、「おもてなし」という世界で最も古く、最も素晴らしいホスピタリティの伝統が存在しています。

同時に京都は、人口減少や高齢化、過剰観光、古くからの伝統の維持の難しさなど、社会的で大きな問題に対して、時代の先を歩んでいます。つまり、ビジネスモデルの刷新について議論するのに最適な場所です。

セオリー	おもてなしの文化、その運営、ビジネスモデル、バリューチェーンについて。リーダーシップを変える、コミュニケーション、雇用、人事管理、モチベーション。リーダーシップの根幹にある自己管理。
研修プログラム第2弾で扱う内容の一例	• 日本の奥深いサービス理念。 • 柔軟なリーダーシップ及びリーダーシップとホスピタリティの関連性。 • 価値提案とビジネスモデルに奥深いサービスを導入する方法。 • 奥深いサービスの理念に沿った、適切な人事関連業務の展開。 • 今日の専門的な背景における学びとキャリア形成。 • ホスピタリティにおける組織学習の概念。 • 運営の一貫性をいかに実現するか。 • 個性と感情の役割を知る。 • 異なる環境と状況で変化をもたらす方法。 • リーダーのための認知神経科学とその意味合い。 • 自己学習の途中で軌道修正する方法。
ソフトスキルの向上	• 深い奉仕の精神と姿勢。 • 生け花、茶の湯、陶芸、書道、指圧、香道、禅宗思想。 • これらの分野のうち、少なくとも1つを見学し、学び、実践。
プロジェクト	自己研鑽とおもてなしが、ラグジュアリーホスピタリティ・モデルにどのように取り入れられるかを共に探求していきます。
指導内容	• 個人指導：個人の規律と影響力。 • グループ共同展開：リーダーとしての信念や信条に基づいた取り組み。
視察（一例）	• 多角的なホスピタリティ戦略を実践している、京都を代表したホテル、レストラン、ショップ。 • 16代目陶芸家による陶芸ワークショップ。 • 日本最古の寺院である奈良の東大寺を訪問。 • 京都最古のお香屋さん「松栄堂」。





フライブルク&バーゼルでの研修プログラム3 - 新しい生き方、導き方に専念する

- アムステルダムと京都での経験を、ホスピタリティの理念と個人の職 業の刷新につなげていきます。
- 視察と講演テーマ:フットプリントの少ない暮らしのための革新的なデザイン、暮らし方とビジネスにおける影響を取り入れる方法、サービスの場における雇用と人材育成の革新的なモデル、プラスの影響を取り入れるためのビジネスモデル・デザインの事例を紹介いたします。
- 研修プログラムで学んだことを自分の職場でどのように応用するかを具体的に構想していきます。
- 自分の職場で取り組むリーダーシップの変化について、同僚やチームにどのようにアピールするかなど、具体的な課題を設定していきます。
- 今後2ヶ月間の自己開発目標を設定し、あなたのリーダーシップとマネジメントの実践に変化が見られるよう、効果目標を伸ばしていくことを目標にしていきます。

フライブルク&バーゼルで開催する理由

1996年、フライブルク・ヴォーバンは、現在「ネットゼロ（温室効果ガスの排出が正味ゼロ）」と呼ばれる目標を掲げた最初の大都市地区となりました。先見の明のあるグループの手によって、コミュニティとサステナビリティを両立させ、環境に配慮した生活モデルを構築する「カルティエ・ヴォーバン」が誕生しました。

ここでの生活は、個人の選択を集団の利益と一致させることに基づいています。カルティエ・ヴォーバンでは、2006年にポジティブ・エネルギー・ハウス(環境に配慮)の最新棟が完成しました。

地球に配慮した暮らしは可能であり、感動的である!これが、フライブルクがこの最後の研修の開催地であり、カルティエ・ヴォーバンが次の段階への足がかりとなる理由です。



セオリー	ラグジュアリーの価値創造とビジネスモデルにおける影響力の一体化、そしてそれがイノベーション、人事とモチベーション、組織構想、リーダーシップ、サービスと運営、目標設定と成功の定義にとって何を意味するのかを考察。
研修プログラム第3弾で扱う内容の一例	• 新しい生活様式の提示。 • 好影響を与えるビジネスモデルと事業。 • 戦略の実施と変化への対応。 • 効果目標の設定と管理。 • ポジティブな影響力を高めるためのリーダーシップ。
ソフトスキルの向上	研修プログラム1 と2 で学んだソフトスキルから、おもてなしの心得を作り上げる。
プロジェクト	ビジネスモデルの整合性と変化におけるリーダーシップに関する学びを、職場でどのように実践するかを探索していきます。
指導内容	• 個人指導 - 同僚やチームへの個人の影響。 • グループ共同展開 - 今後数ヶ月間での変化に対するリーダーシップの課題。
視察(一例)	カルティエ・ヴォーバンをはじめ、住民や創業者との出会い、ホスピタリティ・コンセプトなど、地球環境に配慮した解決策を提供する新しい暮らし方の実証に成功している様子を視察します。

KIHAシニア・エグゼクティブ・プログラム、ステージ2 職場におけるリーダーシップ課題(2ヶ月間)

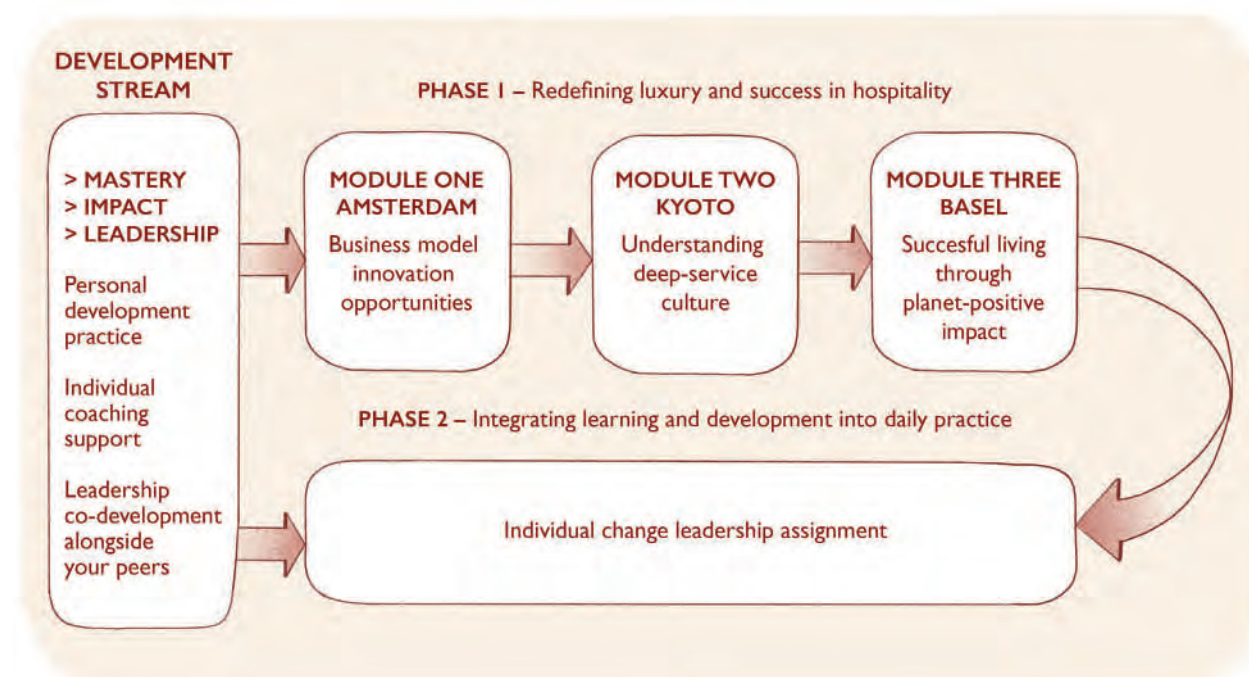
ステージ1の集中研修プログラムが終盤にさしかかり、指導者、コーチ、同じグループの人たちとの協力のもと、ステージ2に向けて、マネジメント業務変革のためのロードマップを作成し、明確なリーダーシップ目標を設定していきます。

そして、急進的な変化を本格的かつスピード感を持って推進し始める意欲を強く感じるようになっていきます。しかし、ロードマップだけでは完全な成功は望めません。私たちは、変化をもたらす際に発生し得る課題、特に現在の職務で最高レベルのパフォーマンスを同時に発揮する必要がある場合の課題を熟知しています。そこで私たちは、理論を日々の実践につなげるために必要なサポートを参加者全員に提供するために、ステージ2を設定しました。

プログラムの最終段階には、さらに2回の個人指導セッション、同僚との共同展開セッション、担当指導者との追加コミュニケーションが含まれています。また、ステージ2を通じて課題の進捗状況を記録するためのケプラーリーダーシップログも提供されます。プログラムを終了するには、参加者全員が6ヶ月目の終わりに、プログレスレポートを提出する必要があります。プログラムはパリで終了し、そこで皆さんは自分の作品を発表し、振り返り、祝い、そして将来を見据える時間を持つことになります。

当プログラムを修了しても、その後も引き続きサポートを提供します。KIHAシニア・エグゼクティブ・プログラムの修了生は全員、ケプラー実践コミュニティに招待され、ラグジュアリーホスピタリティとあらゆる場所での配慮型ツーリズムを再構築するために必要な自己研鑽、影響力、変革的リーダーシップに取り組むエグゼクティブやリーダーの世界的ネットワークに加わることができます。

本プログラムを通して参加者が学ぶ道のり 展開の流れ





KIHA を支えるチーム

ヤンネス・セーレンセン

ロンドンのザ・ボーモント・ホテルに入社し、その後、英国で最も若いGMの一人となり、5年間でこのホテルを、トリップアドバイザーの英国2位のラグジュアリーホテル、世界のトップ25のラグジュアリーホテル、AAロンドン・ホテル・オブ・ザ・イヤー、世界のベスト・インディペンデント・ホテルなど、数々の賞を受賞するランドマークへと生まれ変わらせた実績を持ちます。2年連続で世界最優秀総支配人の座を獲得。彼の影響力のある理念の中心は、ゲストや同僚との有益な関係を築くことであり、そこからすべてが生まれると信じているところにあります。コーネル大学で修士号(エッセンシャルズ・オブ・ホスピタリティ・マネジメント)を取得し、セント・ジュリアン奨学生としてジェネラル・マネージャー・コースも修了。

ベルリンのケンピンスキー・ホテル・アドロン、パリのフォーシーズンズ・ジョージ5世、バルセロナのリッツ・カールトン・ホテル・アーツ、ニューヨークのザ・プラザ・ホテルなど、世界有数の5つ星ホテルで経験を積んでおり、ザ・ボーモントに入社する前は、パリのル・プリストルで客室担当ディレクター兼エグゼクティブ・プランニング・コミッティーの一員、ロンドンのザ・コノートで客室担当ディレクターを歴任してきております。

フィリップ・クレンツァ

KIHAシニア・エグゼクティブ開発プログラムでは、フィリップ・クレンツァが深みのあるサービス・イノベーションのリーダーであり、プログラムの共同リーダー、共同ファシリテーター、参加者向けの指導者、育成コーチとして数十年にわたる専門知識を有しています。

フィリップは、世界有数のホテルで上級管理職を歴任。パリのオテル・ド・クリヨンの総支配人、ロンドンのザ・サヴォイとクラリッジズ、バリのオベロイ、香港のオムニのホテル支配人などを歴任。2005年、フィリップ・クレンツァ&アソシエイツ(PKA)を設立し、ラグジュアリーホスピタリティ、コンサルティング、トレーニングを専門としています。フィリップはまた、HECパリのMBAで教鞭をとり、スイスのレ・ロッシュ・インターナショナル・ホテル・マネジメント・スクールの客員教授としても従事しております。

ジェイコブ・メイン

ジェイコブ・メインの長年にわたる人事部門の上級職と変革リーダーシップの経験は、KIHAシニア・エグゼクティブ育成プログラムの共同プログラム・リーダー、共同ファシリテーター、効果検証リーダー、参加者向けの指導者、開発コーチとしての役割に活かされています。

英国出身でパリを拠点とするジェイコブは、ユニリーバ(食品・飲料)で20年間、人事、ブランド戦略、事業開発、イノベーションに携わり、うち13年間は日本とアジアで過ごしていました。オーストラリアとフランスの文化省でミュージアム部門のCEOとコンサルタントを務め、ターニング・ポイント社で7年間リーダーシップ・コーチングを受けるなど、変革とサステナビリティの戦略コンサルタントとして15年の実績を積んでいます。2005年、Change Leadersを共同設立し、2009年にはNew Anglesを設立。HECパリ校、オックスフォード・サイード校、ジュネーブ大学、レ・ロッシュ校のビジネススクールで教鞭をとり、プログラムを作成し、指導にあたっています。

KENICHIRO YOKOYAMA

京都モジュールを率いるプログラムディレクターとして参加します。横山氏は、高級ホテル業界で37年間のキャリアを積んできました。横山氏は、ホスピタリティにおける本物志向の伝道師として知られ、目的に対する稀有な取り組みを一貫して推進し、卓越性、謙虚さ、細部への正確な配慮、そして並外れた意義深いリーダーシップとの融合で広く称賛されています。

これまで東京、米国、マレーシア、シドニー、大阪、京都で要職を歴任し、その間、ホテル業界におけるモダンラグジュアリーの再定義に尽力してきました。横山氏は、自身の幅広いネットワークと業界での地位を活かし、京都が持続可能な国際観光都市へと変貌を遂げるよう提唱し続けています。ホスピタリティ業界の発展を通じて、地域の社会的、環境的、経済的活動の向上に尽力しています。

ケプラーコミュニティでの実践

プログラムを修了した参加者は全員、ケプラー・アカデミー実践コミュニティのメンバーとなります。そして、「習得」「効果」「リーダーシップ」の3つの主要テーマに関する学びと実践を継続的に共有しながら、ラグジュアリーホスピタリティの世界を変革することに専心するリーダーシップネットワークの一員として活動していきます。

費用について

参加費（授業料、コーチング、モジュール内の昼食および休憩時の軽食、現地での移動費、資料代を含む）：

16,000ポンド（税別）

参加費に含まれないもの：

- 開催地までの往復交通費
- 夕食
- 朝食
- 宿泊費

2026年 開催日程

2025年のケプラー・アカデミー コースは、4つの対面式宿泊モジュールで構成されています。

3月 09日～13日（アムステルダム）	6月 22日～26日（バーゼル & フライブルク）
5月 11日～15日（京都）	9月 09日～10日（パリ）

お問合せ先

ヤンネス・セーレンセン
JS@LEARNKEPLER.COM

フィリップ・クレンツァ
PK@LEARNKEPLER.COM

ジェイコブ・メイン
JM@LEARNKEPLER.COM

LEARNKEPLER.COM



KIHA